

かべの穴、第二話



父ちゃんは、安全で、もっと 広い家を見つけないければい  
けないと言って、命がけで3泊4日の旅に出た。そして、  
この新しい壁の穴を見つけたらしい。でも、生まれたば  
かりの妹 達が自分で歩けるようになるまで、引っ越し  
はできなかった。僕達は、その間、これ以上人間に見ら  
れないように、とても注意深く 過ごした。そして、やっと  
妹 達が歩けるようになって、引っ越しの日が決まったん  
だ。

その 小さな 妹 達を連れて、3軒も 離れたこの 新しい  
いえ ひ こ く もじとお いのち とちゅう  
家に引っ越して来るのは、文字通り 命がけだった。途中、  
ねこ か いえ にわ とお  
猫を飼っている 家の 庭を、通らなければならなかった  
ねこ め さ ぼく たち いき  
からだ。猫が 目を 覚まさないように、僕達はそっと 息を  
ころ ある とき ねこ かため あ  
殺して歩いた。でも、その 時、猫が 片目を 開けてこっちを

み 見た。そして、<sup>ぼく たち</sup>僕達に<sup>きづ</sup>気付いてしまったんだ。<sup>ぼく</sup>僕は<sup>しんぞう</sup>心臓が  
と 止まるかと思<sup>おも</sup>ったよ。もう、みんな、<sup>し</sup>死に<sup>ものぐる</sup>物狂いで<sup>はし</sup>走った。  
あし でも、足が<sup>おそ</sup>遅かった<sup>ひき</sup>2匹の<sup>いもうと たち</sup>妹達は、<sup>ねこ</sup>猫に<sup>つか</sup>捕まってしまっ  
た。あっという間の<sup>ま</sup>出来事だった。それでも、僕達は<sup>ぼく たち</sup>止ま  
るわけには<sup>かな</sup>い<sup>な</sup>かなかった。みんな、<sup>かな</sup>悲しくて<sup>な</sup>泣きながらも  
ひっし 必死で<sup>はし</sup>走った。だから、ついにこの<sup>あた</sup>新しい<sup>いえ</sup>家の<sup>かべ</sup>壁の<sup>あな</sup>穴に  
とうちゃく 到着<sup>とき</sup>できた<sup>かぞく</sup>時は、<sup>ひき</sup>ほっとして<sup>だ</sup>家族<sup>あ</sup>4匹で<sup>あ</sup>抱き合<sup>あ</sup>った。

あた この新しい家には、<sup>いえ</sup>クミコという<sup>ちい</sup>小さな<sup>おんな</sup>女の<sup>こ</sup>子が<sup>す</sup>住んで  
いる。もちろん、彼女の<sup>かのじょ</sup>両親も、そして、<sup>りょうしん</sup>祖父母<sup>そふぼ</sup>達も<sup>たち</sup>一緒<sup>いっしょ</sup>に  
住んでいる。このクミコが、<sup>まいにち</sup>毎日<sup>た</sup>た<sup>もの</sup>くさんの<sup>た</sup>食べ物<sup>た</sup>を  
した テーブルの下に<sup>した</sup>こぼしてく<sup>いろ</sup>くれる<sup>た</sup>んだ。だから、「ここに  
ひ こ き 引っ越して<sup>いろ</sup>来<sup>た</sup>てから、<sup>た</sup>色んな<sup>もの</sup>食べ物<sup>た</sup>を<sup>た</sup>食べ<sup>た</sup>られる<sup>た</sup>ように  
ぼく になった<sup>りょうしん</sup>わ」と、僕の<sup>よろこ</sup>両親は<sup>よろこ</sup>喜んで<sup>よろこ</sup>いた。

## Vokabular

### Bitno

三泊 <i>brojač</i> • tri noći	さんぱく	文字通り <i>imenica, prilog</i> • doslovno	もじどおり
旅 <i>imenica, suru-glagol</i> • put, putovanje	たび	気付く <i>glagol(五)</i> • primijetiti	きづく
間 <i>Imenica, prilog</i> • sredina, vremenski period	あいだ	心臓 <i>imenica</i> • srce	しんぞう
過ごす <i>glagol(五)</i> • provoditi (vrijeme)	すごす	あつという間 <i>izraz</i> • u trenu / dok kažeš keks	あつというま
決まる <i>glagol(五)</i> • biti odlučeno	きまる	出来事 <i>imenica</i> • događaj	できごと
連れる <i>glagol(一)</i> • povesti sa	つれる	到着 <i>imenica, suru-glagol</i> • dolazak	とうちゃく

## Ostalo

第 <i>prefiks</i> • prefiks za tvorbu rednih brojeva	だい	4 日 <i>brojač</i> • četiri dana	よっか
二話 <i>brojač</i> • druga epizoda	にわ	出る <i>glagol (一)</i> • izaći	でる
父ちゃん <i>imenica</i> • tata	とうちゃん	新しい <i>i-pridjev</i> • nov	あたらしい
安全 <i>imenica, na-pridjev</i> • sigurnost	あんぜん	壁 <i>imenica</i> • zid	かべ
広い <i>i-pridjev</i> • prostrano, široko	ひろい	穴 <i>imenica</i> • rupa	あな
家 <i>imenica</i> • kuća	いえ	生まれる <i>glagol (一)</i> • roditi se	うまれる
見つける <i>glagol (一)</i> • pronaći	みつける	妹 <i>imenica</i> • mlađa sestra	いもうと
言う <i>glagol (五)</i> • reći	いう	妹達 <i>sufiks za množinu</i> • mlađe sestre	いもうとたち
命がけ <i>imenica</i> • riskirati život	いのちがけ	自分 <i>zamjenica</i> • ja	じぶん

歩く <i>glagol(五)</i> • hodati	あるく	離れる <i>glagol(一)</i> • odvojiti se	はなれる
引越す <i>glagol(五)</i> • preseliti se	ひっこす	来る <i>nepravilan glagol</i> • doći	くる
僕 <i>zamjenica</i> • ja, muški	ぼく	途中 <i>imenica, prilog</i> • usred	とちゅう
以上 <i>imenica, prilog</i> • više od	いじょう	猫 <i>imenica</i> • mačka	ねこ
人間 <i>imenica</i> • čovjek	にんげん	飼う <i>glagol(五)</i> • imati (životinju)	かう
見る <i>glagol(一)</i> • vidjeti	みる	庭 <i>imenica</i> • vrt	にわ
注意深い <i>i-pridjev</i> • oprezan	ちゅういぶかい	通る <i>glagol(五)</i> • proći kroz	とおる
小さい <i>i-pridjev</i> • malen	ちいさい	目を覚ます <i>izraz</i> • probuditi se	めをさます
3軒 <i>brojač</i> • tri kuće	さんげん	息を殺す <i>izraz</i> • zadržavati dah	いきをころす

時 <i>imenica, prilog</i> • tren, vrijeme	とき	足 <i>imenica</i> • noga	あし
片目 <i>imenica</i> • jedno oko	かため	遅い <i>i-pridjev</i> • spor	おそい
開ける <i>glagol(一)</i> • otvoriti	あける	二匹 <i>brojač</i> • dvije male životinje	にひき
止まる <i>glagol(五)</i> • stati	とまる	捕まる <i>glagol(五)</i> • biti uhvaćen	つかまる
思う <i>glagol(五)</i> • misliti	おもう	悲しい <i>i-pridjev</i> • tužan	かなしい
死に物狂い <i>izraz</i> • očajnički	しにものぐるい	泣く <i>glagol(五)</i> • plakati	なく
走る <i>glagol(五)</i> • trčati	はしる	必死 <i>na-pridjev, no-pridjev</i> • očajno	ひっし

## Domaća zadaća

1. Napišite kratku priču ili par rečenica koristeći riječi iz kutije ispod. Rečenice ili tekst ne moraju nužno biti vezane uz samu vijest.

旅 ・ 過ごす ・ 心臓 ・ 出来事 ・ 到着

---

---

---

---

---

---

---

## 2. Odgovorite na pitanja:

- (i) 父<sup>ちち</sup>ちゃんは新<sup>あた</sup>しい壁<sup>かべ</sup>の穴<sup>あな</sup>を見<sup>み</sup>つけるために何<sup>なに</sup>をしましたか？

---

---

- (ii) 何<sup>なん</sup>で今<sup>いま</sup>すぐに引<sup>ひ</sup>っ越<sup>こ</sup>しで<sup>ひっこ</sup>きませんでした？

---

---

- (iii) 引<sup>ひ</sup>っ越<sup>こ</sup>しの途<sup>と</sup>中<sup>ちゅう</sup>で何<sup>なに</sup>がありました？

---

---

- (iv) 新<sup>あた</sup>しい壁<sup>かべ</sup>の穴<sup>あな</sup>は前<sup>まえ</sup>のとど<sup>ちが</sup>う<sup>う</sup>のですか？

---

(v) 語り手の両親は何で喜んでいますか？

3. Nadopunite sljedeće rečenice riječima iz kutije ispod:

泊 ・ 旅 ・ 間 ・ 過ごした ・ 決まった ・ 連れて ・ 文字通り  
気付きました ・ 心臓 ・ あっという間 ・ 出来事 ・ 到着

- (i) 私は名古屋に一\_\_\_\_\_旅行をする計画をしている。
- (ii) \_\_\_\_\_に行くときはブラシを持っていくのは当然だ。
- (iii) 川と丘の\_\_\_\_\_にむらがある。
- (iv) 石子は「昨日本屋で\_\_\_\_\_数時間は幻想的でした」と金魚の幸子ちゃんに話しました。
- (v) 去年賛子の村で近郊の森全部をでかい壁を作るために使うと\_\_\_\_\_から、賛子は今でもそれを止めようとしている。
- (vi) 花子ちゃん、武君を\_\_\_\_\_ビーチに来てね、スイカ割るから。
- (vii) 愛子は先生の\_\_\_\_\_数学の問題を解いたけど何回解いても答えは正しくなかった。
- (viii) 腕を蚊に刺されているのに\_\_\_\_\_。
- (ix) 人ごみにそんなに長くいるのは\_\_\_\_\_に悪い。
- (x) 一週間後山を登りに行ったけど\_\_\_\_\_に疲れて五時間もかかったのさ。
- (xi) 武君は「僕はその\_\_\_\_\_とは何の関係もない」と言ったけど、誰も信じなかった。
- (xii) 消防車が\_\_\_\_\_した時にラブホテルはすでに燃えつくした。